

平成 20 年度・浮き城のまち景観賞  
審査対象作品詳細

資料 3

①	応募作品名	テクノホルティ園芸専門学校
	所在地	行田市埼玉 4758
	推薦理由	「テクノホルティ園芸専門学校」の煙突が、シンボリック的存在感である。また、学校校舎と花壇との調和が取れている。
	建築物の用途	学校
	完成年月	昭和 63 年
作品写真		

平成 20 年度・浮き城のまち景観賞  
審査対象作品詳細

資料 3

②	応募作品名	金澤製菓店
	所在地	行田市埼玉 5288
	推薦理由	店舗として歴史的な重みがあり、前玉神社に隣接していて景観とのバランスが調和している。
	建築物の用途	店舗
	完成年月	昭和 50 年
作品写真		


平成 20 年度・浮き城のまち景観賞  
審査対象作品詳細

資料 3

③	応募作品名	行田天然温泉「古代蓮物語」
	所在地	行田市向町 19-26
	推薦理由	行田市のシンボリックな公園である「古代蓮の里」に類似する名称塔やその建物の外観により、大衆の手軽な温泉として利用できる。
	建築物の用途	天然温泉の施設
	完成年月	昭和 50 年
作品写真		

平成 20 年度・浮き城のまち景観賞  
審査対象作品詳細

資料 3

④	応募作品名	蔵一山
	所在地	行田市桜町 2-29-3
	推薦理由	酒蔵を改造し、飲食店としてコンバージョンした建物である。敷地を囲う黒色の板塀や幟旗が酒蔵の外観にマッチし、落ち着いた雰囲気を出していると共に、藁や緑をふんだんに取り入れたことで市街地において自然的な要素が味付けされている。交通量の多い県道沿いにありながら、行田らしい歴史を感じさせる景観を創出している。
	建築物の用途	飲食店
	完成年月	不明
作品写真		

平成 20 年度・浮き城のまち景観賞  
審査対象作品詳細

資料 3

⑤	応募作品名	イタリア料理 ORTON
	所在地	行田市長野 1813-1
	推薦理由	洋食を提供する店舗ながら、その外観には竹や板塀、暖簾など和の素材をふんだんに取り入れており、思わず立ち寄ってみたいくなる独特の雰囲気を出している。
	建築物の用途	飲食店
	完成年月	不明
	作品写真	

平成 20 年度・浮き城のまち景観賞  
審査対象作品詳細

資料 3

⑥	応募作品名	高窓のある農家
	所在地	行田市南河原 1211
	推薦理由	農村地帯に佇む、屋敷林で覆われた広い敷地の邸宅である。この辺りとしては珍しく高窓を持っており、養蚕農家である（或いはあった）ことが伺える希少な建築物と推測される。周辺一帯は田畑と人家が混在しており、この時期、道端に咲くコスモスと相まって、自然の温かみを包容したのんびりとした雰囲気を漂わせている。
	建築物の用途	一般住宅
	完成年月	不明
作品写真		

平成 20 年度・浮き城のまち景観賞  
審査対象作品詳細

資料 3

⑦	応募作品名	国道沿いに佇む豪邸
	所在地	行田市城西 4-7-14
	推薦理由	国道 125 号を走行していると、奥まった場所にありながら目を引かれる、その存在感に圧倒される建物である。その威風堂々たる外観は、飲食系や娯楽系の店舗が立地するこの辺り一帯において、行田の歴史を静かに見守っているかのような厳かな空気に包まれている。
	建築物の用途	一般住宅
	完成年月	不明
作品写真		

平成 20 年度・浮き城のまち景観賞  
審査対象作品詳細

資料 3

⑧	応募作品名	武蔵野銀行行田支店
	所在地	行田市行田 4-5
	推薦理由	明治時代の建築物のように歴史を感じさせる。
	建築物の用途	銀行
	完成年月	昭和 9 年
作品写真		



平成 20 年度・浮き城のまち景観賞  
審査対象作品詳細

資料 3

⑨	応募作品名	忠次郎蔵 (旧小川忠次郎商店)
	所在地	行田市忍 1-4-6
	推薦理由	蓮華寺通りに面し、行田を代表する産業であった足袋の原料を商っていた。解体予定だった建物を改修し、店舗などとして再活用している。「足袋の町・行田」らしさを象徴し、蓮華寺通りの景観の創出にも寄与している。また、行田の足袋産業最盛期を象徴する建物として、国の登録有形文化財にもなっている。
	建築物の用途	飲食店・事務所
	完成年月	昭和初期
作品写真		